

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：長屋 富美

使用教科書：「Tutti+」（教育出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽の構造や、音楽の特性に応じた要素や表現上の効果について理解し、表現できる。

【思考力、判断力、表現力等】音楽を形作っている特徴を生かした音楽表現を工夫し、意図をもって表現している。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協同的に演奏や鑑賞、創作等の学習活動に取り組んでいる。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽の構造や特性と表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした演奏表現をするために必要な知識・技能を身につけ、表現している。	・音楽の特色を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととのかかわりについて考えるとともに、どのように表現するかについての意図をもって表現している。	・楽曲の内容について関心を持ち、主体的協働的に取り組もうとしている。生徒が社会や世界と関わりを持ちながら、よりよい人生を送るために必要な資質や能力を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	楽典						
校歌を歌おう 【知識及び技能】 歌詞の内容について理解し、ふさわしい発声や発音で演奏表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲を構成している要素を理解し、それらの関わりについて考え、工夫して演奏表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚、アクセントや流れについての表現を工夫し、主体的に演奏活動に取り組もうとしている。	校歌「青きけやきの丘に」 調・拍子・速度・強弱について理解する。 歌詞の内容を理解して情景を思い描く。作詞作曲家について調べ、この曲について意図するものを理解する。 譜読みを正確にする。演奏順D. S. Coda等の記号を理解して歌う。二部合唱の部分は対比するフレーズのよさを感じ取り、表現する。合唱で互いの声を聴きあい合わせる工夫をして美しい響きを奏でる。	○			【知識・技能】 校歌の特性を理解し、曲にふさわしい発声、発音等の使い方を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 楽曲を構成する要素を理解し、その働きとの関わりを考えながら演奏表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 校歌の歌詞の特性を感じ取り、イメージをもって主体的に演奏活動に取り組んでいる。		○	○	○	7
西洋の楽器と合奏について理解する 【知識及び技能】 楽器の構造と音色、奏法を理解する。ソナタ形式の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の構造、音色をもとに楽器グループについて理解する。交響曲第9番が二つの主題をどのように展開しているか研究する。 【学びに向かう力、人間性等】 西洋の楽器を積極的に理解しようとし、演奏表現に生かそうとしている。イタリア歌曲を歌おう	・バガニーニの名演奏からバイオリンの様々な技法により主題の要素の変化を感じ取る。 ・「交響曲第9番ニ短調」第1楽章の鑑賞をする。ソナタ形式、]楽器の配置図等を理解して音楽を深く味わう。また、主題が展開されたり、再現されたりする特徴を理解して、ベートーヴェンが終楽章に向けて意図するものを考える。			○	【知識・技能】 楽器の構造と音色、奏法を理解する。ベートーヴェンの交響曲第9番1楽章の楽曲構成、分析を理解している。 【思考・判断・表現】 楽器の構造・音色から楽器グループを理解し、演奏表現に生かすことができる。ベートーヴェンの交響曲第9番のシラーの詩を理解して楽曲を深く味わう。 【主体的に学習に取り組む態度】 交響曲第9番について、興味をもって積極的に理解しようとしている。		○	○	○	9
イタリア歌曲を歌おう 【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲を形作っているもの、構成について音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感じ取り、イメージをもって歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア歌曲について興味関心を持ち、主体的に取り組む。	・イタリア歌曲「カロミオベン」イタリア語の歌詞を音読して和訳も理解する。曲想と音楽の構造を理解しながら歌う。 ・ナポリ民謡の「サンタルチア」カンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を思いうかべながら歌う。	○		○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わりおよび音楽の多様性について理解できる。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら様々な知識や技能を関連させて意図するものを深く考え、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		○	○	○	9
音名と記譜を理解しよう 【知識及び技能】 記譜についての記号と音名を理解している。【思考力、判断力、表現力等】 楽譜を読み、表現に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽譜や音名について、主体的に学習活動を行っている。	・楽典「大譜表と音名」 ・大譜表はト音記号とヘ音記号の音名について理解する。 ・音名は日本語、ドイツ語、英語、イタリア語の読み方、記譜について理解する。			○	【知識・技能】 大譜表と音名について理解している。 【思考・判断・表現】 記号や音名の関わりを結び付けて考え、読譜できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に、楽譜について理解しようとする。		○	○	○	5

